



日本共産党  
北茨城市委員会  
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行

市議団  
ニュース

ご相談は  
お気軽に

市議会議員  
福田 明  
43-0468

市議会議員  
鈴木やす子  
42-2462

# 市内小・中学校の再編計画

## ひろく市民からの意見も募集

中間報告  
発表

このほど市教育委員会から「小・中学校再編計画」の中間報告が発表されました。昨年の検討委員会の答申（①小学校は1学年2学級以上、②中学校は1学年3学級以上）に沿って具体化されたものです。

今後10年間をめやすに、現在の小学校12校を9校に、



中学校5校を4校に再編することをめざしています。実際の統合は、学校規模や学校施設、関係者の意見を総合的に判断し、優先度の高い順からすすみたいとしています。（表参照）

検討委の委員を務めた福田明市議は、「小規模校、大規模校のそれぞれのメリッ

トやデメリットが論じられるなかで答申が出された。議論において私は、結果的に統合するさいにも、地域の住民の合意を得ること何よりも大切にする必要がある、地域の衰退に絶対につなげてはならないと強く主張した」とふりかえっ

### 市予防接種 対策協議会

市では、中間報告をふまえて教育関係者等が参加して意見交換会を2月中旬に市内5ヶ所で開くと同時に、市民から再編に関する意見を募集（提出期限2/19）しています。

1月27日、市予防接種対策協議会が開かれました。

報告によれば、BCG、ポリオ、三種混合は、ほぼ完全に接種されています。

ただし「麻疹風しん混合」については、個別接種となる4期目（高校3年生が該当）が6割にとどまっております。担当課では学校をおおりの啓蒙や個別の再通知に努めるとしています。

また今期は、新型インフルエンザの発生がありました。現在、全国的には人口比15〜20%の罹患となっています。12月に減少したものの、この1月中旬から再び増加傾向にあります。10月中旬から始まった予防接

「北茨城市小・中学校再編計画」の中間報告から

|                  |                                      |
|------------------|--------------------------------------|
| 統合をめざす           | 中郷第一小と石岡小、中妻小と華川小、関本第一と富士ヶ丘小、磯原中と華川中 |
| 減少に応じ段階的に統廃合をめざす | 中郷第二小、明德小、関南小、大津小、平潟小、常北中、関本中        |
| 現状のまま存続          | 精華小、中郷中                              |

### 市長と話してみませんか 帰りたい 働きたい 北茨城



種は、市内で約3500人が受けました。一般の接種も1月下旬から始まっています。近くの病院・医院で予約が必要です。従来の季節性インフルエンザの予防接種については、例年の8割の生産量ですが、市内では現在市立総合病院にまだ在庫があります。問い合わせしてみてください。

1月23日、関南多目的集会所で、北茨城市女性連盟主催の「市長と話してみませんか／帰りたい 働きたい 北茨城」が開かれました。まず市長から市政報告がありました。財政がきびしいなかでも、国・県と交渉し、補正予算を取り込んで施策の充実をはかってきたこと、特にこの暮れからお正月にかけては、病院建設の進展、

### この春 値上げ？

中止を求める署名にむきつづきご協力を  
後期高齢者医療制度を批判し、その廃止を公約して政権交代を果たした民主党政権のもとで、それが先送りされるばかりか、本紙でも報じているとおり、この春、保険料の値上げの可能性もいわれています。日本共産党では、値上げ反対の運動に取り組む、市内でも次々と署名が寄せられています。当面、2月17日に

高校新卒者への就職支援に力を入れていることが報告されました。また、新年度予算案については、小学校就学前までの医療費無料化や、子育て支援に意欲を示しました。

参加者との意見交換では、身近な施設の改善や役所の窓口対応の気配りを要望するものから、省力・節電施策の提言や人口減・少子化対策についての質問など、多岐にわたって意見が交わされました。副市長、部長ら市幹部や、企画担当職員も同席し、質問にこたえました。

